

コミネット宝木だより

変わりゆく景色 鳥取道工事開始



平成25年2月10日の様子

一年間を振り返って

会長 米田克彦

宝木地区の皆様には、宝木地区まちづくり協議会の事業実施に対しまして、「ご理解・ご協力を頂き、お礼申し上げます。私たちは皆様と一緒に「やすらぐ 住みよい 元気なまち宝木」づくりを目指して活動を続けて参りました。

今年度の各委員会の主な一つの活動は

- ・ 生活環境 ↓ 『宝木地区民の健康を考える会』の立ち上げとアンケート準備
- ・ 自然環境 ↓ 桜の木の管理
- ・ 子どもを育てる ↓ 宝木っ子まつり

平成25年 区長紹介 一年間お世話になります

- | | | |
|----|----|----------------|
| 上 | 光 | 富川 勇 |
| 下 | 光元 | 沢村俊一郎 |
| 夏ヶ | 谷 | 藤本千里 |
| 常 | 松 | 山崎俊宏 |
| 富 | 吉 | 田中敬介 |
| 宝 | 木 | 吉村文夫
(幹事) |
| 水 | 尻 | 松本 稔 |
| 奥 | 沢見 | 水田秀樹
(敬称省略) |

- ・ 防犯防災 ↓ 行政と協力し、災害時要援護者支援制度の取り組み
- ・ 活性化 ↓ 宝木小卒の同窓会等ですが、詳細は各小委員会の報告に任せることとします。

皆様にお願ひしたいことは、本会の目標を達成するために、要望をお知らせ頂くこと、皆様の気力・体力に合わせ事業実施等に手伝って頂くことです。

さらにもう一つお願ひがあります。自薦・他薦を問いません。本会のリーダーとなって、やってやろうという役員の発掘です。どうぞ考えておいてください。

最後になりましたが、地区公民館だより、自治連だよりにも紹介されましたように、皆様とともに活動したことが、平成二十四年度「頑張る住民自治活動表彰」となり、知事表彰を受けました。表彰状は宝木地区公民館玄関に掲げられています。どうぞご覧下さい。

委員会 活動報告

生活環境小委員会

本部享司

ふれあい市について
地区公民館で開催のふれあい市は3年目を迎え、定着しつつあります。

店は、地区内商店と奥沢見のホンモロコ、その他各集落の農産物など。

生 欲を言えば素人農家の方がもっと意欲的に出品して下さること、其れをめぐって大勢の方が買いに来てくださる。次期の注文をしてくださるようなどが皆の楽しみを広がっていくことになると思います。

生 生活習慣病のない宝木地区を目指して
昨年七月生活環境委員と健康部、健康づくり地区推進員、食生活改善推進員などが集まり「宝木地区のみんなの手で」「子供から高齢者まで」「宝木地区に健康の運動を巻き起こらせよう」と話し合いました。

「生活習慣病のないまち宝木」をテーマに決め8回の小委員会を開催。

第2回九月には研修会で、東部福祉保健局長井氏の講演を聴き、「人の健康に大切なものは『絆』である。」と、含蓄のある言葉が印象的でした。

第3回目からアンケートにより実態調査をする事目的を絞りました。最初から市民福祉課中宇地保健師の指導を受け



ながら進めてきましたが、この他オズバーとして、県福祉保健局谷川恭子氏、

市中央保健センター楮原栄養士には同じ立場でお世話になっていきます。四月からは宝木地区民にこの意図を理解してもらい、特に区長さんにはアンケートへの理解と協力をお願いしなければなりません。

自然環境小委員会

山本正博

先日テレビ番組で東日本大震災地釜石の様子が放映されていました。内容は被災した翌日、まだ深い悲しみの中、仲間への遺体捜索、安否、生存確認をしている内容でした。孤立してしまつた中、自衛隊の支援が来るまで涙しながら必死で活動している姿に心打たれました。

私たちの生活現況は、情報化、過疎化が進む中、地域は都会化、無関心化がそれに比例し、近隣の人との結びつきが薄れてきているように思います。

「地域コミュニティの構築」が叫ばれて久しくなりますが残念ながら具現化できていないのも事実でしょう。そういった中にある「コミネット宝木」はまさしく的を得た地域活動組織の一環といえるでしょう。

さて当小委員会は

豊かな自然環境を後世に残す。のテーマの元、身近な諸問題から少しずつ取り組む活動を目指しその先鋒として

て一昨年河内川の土手に桜の植樹をし、昨年は六月と八月に草刈りを、十二月に草刈と施肥の管理作業を行いました。

すこしずつ成長する姿は、わが子の成長を見るようで楽しみです。

やがて花見のシーズンになれば老若男女が集いあちこちから笑い声と歌声が聞こえてくるでしょう。遠くから眺めても土手沿いの花を見てきつと心安らぐことでしょう



小さなことから始まる一歩は後世に地域コミュニティの大きな意義を残せるものと思負しています。今後とも地域住民の皆様とのかかわりを深め一緒に活動範囲を広め、前出の釜石市箱崎地区のような信頼と連携のある町づくりをしたいものと思っています。

子どもを育む環境小委員会

亀谷寛己

宝 木っ子まつり毎年好評頂いていきます。3日間の準備、前作業を終え、当日七月二十九日を迎えました。砂像作りでスタートを切り、大人も子どもも一生懸命製作に取り組みました。子ども達、保護者、兄弟、家族と協力しながら「あー、崩れた」「耳が取れた」と可愛い声を発しながら楽しんでいました。その後、砂の中に埋めてあるお菓子を掘り出す



「宝探し」でも大喜びでした。地曳き網は昨年より参加の保育所年

長組幼児達も加わって「よいしょ よいしょ」と曳きましたが、毎年の事ながら魚が少なく、もっとたくさん入ってくれたら子ども達の喜びも倍加したのではないかと思いました。子どもは子ども同士のふれ



踊りました。結果、4年連続優勝に輝きました。毎年参加を楽しみにしている人もたくさん居られますが、新しい参加者



育を行うにはこのような行事は大変、有意義な事だと思いません。そして、自分も久しぶりに合った知人と喋り、子ども達とふれあい、元気になりました。

「貝」がら節まつりに、今年も「コミネット宝木として参加しました。「ガッツだけ宝木」を合い言葉に幼児から高齢者まで、汗だく・一丸となって

を募り益々地域の輪が広がる事を願っています。高齢化の中ですが、各部落にはまだまだ若い人がおられます。今後、この世代の人達が参加し、地域が元気になれば良いと思います。

防災防災対策委員会

吉村文夫

災 害時要援護者支援制度 防災防犯部会の課題として取り組みました。宝木地区の民生児童委員が中心となって、各部落の区長さんの支援をいただきながら第一歩を踏み出すことが出来ました。

高齢化が進む中、地域で要援護者を支援していく基礎ができたので、今後は各集落での支援の枠組みを具体化し、地区全体が安心なまちづくりの構築に進んでいただきたい。

一歩一歩ではあります。次は、マップづくり等行政の施策とすり合わせながら新たな視点で進めていただければと考えます。

活性化対策小委員会

北村公

ジ 昨年度より資料・情報収集のケおこしマップが形となりました。

長閑な農地に流れる河内川。南に鷲峰を望み、北には日本海国道9号線が走り、JR宝木駅を有し立地条件は申し分のない宝木地区。でも、「宝木は何にもないなあ〜」。

騒々しいのは好まないが、適度に人の動きが欲しい。「元気なまち宝木」を目指す「コミネット」として何かを仕掛ける必要があるのでは？

四月より、掲載商店・場所への訪問。写真の収集。原稿の取り纏めを実施してきました。十月よりプレゼンテーションで、委員一人ひとりが一生懸命マップと向き合い完成しました。

三月に各戸配布、掲載店等へ常置し、ジグのお宝・地域への愛着を住民みんなで創り上げ、宝木が元気になる事を願っています。

消防団と地区住民とのコミュニティの形成

私たちの街は 私が守る 仲間の街も 私が守る

「防災意識と取り組み」

鳥取市消防団気高第二分団

私たち鳥取市消防団気高第二分団は、火災はもちろんのこと「地震」「風水害」等の天災に備え、常日頃より訓練を重ねています。

近年、幸いなことに宝木校区内での火災は減少傾向にあります。平成23年から各家庭にも「住宅用火災警報器の設置」が義務化されたことも、火災に対する意識が更に向上した要因の一つになったことでしょう。

しかし、まだまだ私達の身の周りには想像を絶する危険が潜んでいます。一昨年の東日本大震災もその一つです。そのような事態に

遭遇した時、みなさんはどのような行動をとれば良いのでしょうか？いつ来るか分からない事象に対しての準備とは実感がわかないのも事実です。日頃から少しずつでも防災について考えることが「もしも」の時、自身の愛する家族の「安全」につながっていくのです。

今後も私たち消防団だけではなく、自警団・各自治体とも連携を図り、啓発活動・防災訓練等を実施していきたいと考えています。そうすることで、みなさん一人一人の防災意識が高まり、私達の生活するこの町がどんな苦難にも負けることのない、豊かで力強い町へと成長していくと信じています。



消防団のことを知ってもらおう、住民とのつながりを大切にと文化祭で、初期消火の寸劇・防火服の着用体験・消火器実演を実施しました。



活性に人の動きは欠かせません。「コミネットふれあい市」は食の難民防止もありますが、ご近所のおじいちゃん、おばあちゃんの安心安全野菜で地産地消。地域で出来たものを地域で食したいものです。今回は5月上旬を予定しています。少しずつ、多くの参加で賑やかに開催したいと思います。出店、ご来場お待ちしております。申込は、地区公民館へ